

「事業名：インターンシップ型農業・農村総合活性化戦略プロジェクト」

東京農業大学 連携市町村：浪江町、双葉町

現地拠点：双葉郡浪江町 福島舞台ファーム株式会社(2階事務室)

事業のポイント

■住民への意向調査によれば浪江町への町民の帰還意向は低く、地域を再生させるには、更なる移住・定住などの外部からの人材定着が課題である。東京農業大学では、基幹産業である農業分野を中心に地域産業の担い手育成に向けた教育研究プログラムを『**インターンシップ型農業・農村総合活性化戦略プロジェクト**』として、連携協定を締結している浪江町・(株)舞台ファームの協力を得ながら、本学の3キャンパス(世田谷・厚木・オホーツク)の大学生・大学院生を中心に展開する。

人材育成目標

■福島県浪江町および沿岸地域への新規就農および地域企業等への就職実績として、5年間で9名の人材定着を目指す。また、浪江町の復興支援活動に参加し、将来的な交流人口・関係人口として期待できる大学生等を「**復興支援サポーター**」として年間20名を育成する。

2024年度の活動内容

■本学では、浪江町、(株)舞台ファーム、地域企業と連携したプログラムとして、「復興浪江学」、「一般農業実習プログラム」、「特別実習プロジェクト」、「特別インターン」、「新規就農実践講座」を実施するほか、学生プロジェクトや地域素材を活用した商品開発支援を継続的に実施する。双葉町においても営農再開・基本調査を実施する。

また、浪江町や浜通り地域への新規就農、農業生産法人や地域企業等への就職による人材定着に注力するため、関係機関との連携強化により、プログラムの充実化を図りながら、学生と地域とのマッチングの機会を確保する。



浪江復興米の田植え作業

取り組みによって得られる成果

■本事業の取り組みによって、浪江町への交流人口・関係人口の増加、新規就農や地域企業等への人材定着、新商品開発が期待される。沿岸地域の自治体等との連携による課題解決により地域全体の活性化に繋げる。